

午後Ⅱ試験

全問共通

全問に共通して、単に見聞きした事柄だけで、自らの考えや行動に関する記述が希薄な論述や、マネジメントの経験を評価したり、それを他者と共有したりした経験が感じられない論述が散見された。プロジェクトマネジメント業務を担う者として、主体的に考えて、継続的にプロジェクトマネジメントの改善に取り組む意識を明確にした論述を心掛けてほしい。

問1

問1では、ステークホルダやコミュニケーションなどのプロジェクトマネジメントの対象を明確にした修整については、実際の経験に基づいて論述していることがうかがわれた。一方で、実行中に発生した課題に対応する計画変更やプロジェクトの目標達成に適合していない修整についての論述も見受けられた。プロジェクトマネジメント計画を作成するに当たっては、組織で定められた標準や過去に経験した事例を参照し、さらにプロジェクトの目標や独自性を考慮して的確に修整することが求められる。プロジェクトマネジメント業務を担う者として、プロジェクトマネジメント計画の修整に関するスキルの習得に努めてほしい。

問2

問2では、直接原因については、経験に基づき具体的に論述できているものが多かった。一方、根本原因の究明に至る行動において、客観的な立場で参加する第三者による原因の究明がなく、当事者にヒアリングするだけであったり、因果関係の整理や段階的な分析などの方法がなく、技術的な調査に終始するだけであったりするなど、根本原因の究明や再発防止策立案の知識や経験が乏しいと思われる論述も見受けられた。プロジェクトマネジメント業務を担う者として、目標を達成できずにプロジェクトを終結した経験を、自らの知識やスキルの向上とともに、組織のマネジメント能力の向上にもつなげてほしい。